



たなばたのものがたり

ひらかたしのおとないのかたのしには、ふるくからたなばたのものがたりがかたいつがれていて、それにゆかひのあるほしよがたくさんあります。あまのがわにはかささぎほしがかかっている、はたものじんじゃもあります。



おりひめは、はたおりでかみさまのようふくをつくるしごとをしていました。



ひこぼしは、あまのがわのきしでうしをかってせわをしていました。



かみさまのしょうかいでふたりがであい、しあわせなけっこんをしました。



でも、なかがよすぎてふたりはしごとをわすれてあそんでばかり。



かみさまのきものはボロボロ。うしはびようきになってしまいました。



おこったかみさまは、ふたりをわかれわかれにしたのです。



まいにちなきつづけたおりひめをかわいそうにおもったかみさまは、ねんにいちど7月7日だけあうことをゆるしました。



しかし、あめがふるとあまのがわのみずがふえてあえません。



でも、だいじょうぶ。そんなときはカササギというとりがとんできてあまのがわにはしをかけてくれるのです。



これが7月7日のたなばたのおはなし。ひらかたにもあまのがわというなまえのかわがあり、かささぎばしというはしがかかっています。

たなばた

七夕まつりのたべものは、あまのがわにみたてた「そうめん」がたべられます。

でんせつ

伝説にちなんだかざりつけてたのしんでください。

わぎ

そうめんに、輪切りにしたオクラをもりつけると星形になり、あまのがわに見えてすてきです。

ほしがた

み

